

# ときめき通信

285号

9月4回

[発行者]生活協同組合パルシステム新潟ときめき

[編集責任者]佐々木功

配付日:2023年9月11日~9月15日

お問い合わせ先 ▶ 配達・ご利用・お支払い・組合員活動に関して パルシステム問合せセンター 0120-868-014 (月~金曜日/9:00~20:00 土曜日/9:00~17:00)

## 開催報告

# ときめき学校 2023

~ささかみ~

もっといい明日へ  
お米で  
超えてく

今年で3年目となるときめき学校ささかみは「合鴨に会いに有機米の田んぼに行こう!」をテーマに3回シリーズで開催。

1回目は6月11日(日)、2回目は7月1日(土)に『有機新潟こしひかり(無洗米)』の生産地の一つ、JA新潟かがやき有機米の生産者青木等さんの田んぼで行いました。

この企画は申込みが定員を超え抽選となりました。



### 6/11(日)の「有機米についてと合鴨の放流」

には11組30人が参加しました。

最初に青木さんから有機米の説明をしていただきました。次に奥様から『アイガモ農法』と『アイガモとお米づくり』についてお手製のイラストを基にお話ししていただきました。お話しの最後に青木さんから、放流する予定の合鴨は170羽でしたが、前々日に野生動物に襲われて20羽しか残らなかったという悲しいお知らせがありました。



放流のため移動する途中には急遽購入した生後3日のヒナがいてその可愛さに立ち止まって声をかける参加者が多くいました。

その後、合鴨たちを参加者の子ども達の手で有機米の田んぼに一羽ずつ放しました。最初は戸惑い畦(あぜ)にいた合鴨たちも徐々に田んぼに入り群れになって元気に泳ぎ始めていました。参加者はその様子を見守りながら田んぼを後にしました。



最初は戸惑い畦(あぜ)にいた合鴨たちも徐々に田んぼに入り群れになって元気に泳ぎ始めていました。参加者はその様子を見守りながら田んぼを後にしました。

### 7/1(土)の「合鴨への餌やりとお仕事観察」

には9組28人が参加しました。

青木さんから米づくりの1年間の作業内容の説明をしていただいたあと、施設内の乾燥機や粃すり機など様々な設備を見学しました。その後、合鴨たちがお仕事をしている田んぼに移動しました。田んぼの中を自由に動き回っている合鴨たちが見られるかなと期待していましたが田んぼの畦(あぜ)の中ほどでお休み中。楽しみにしていた餌やりはできませんでしたが、合鴨たちがひと月前に比べると大きくなっている事に参加者は驚いていました。

田んぼから戻ったあとは『「キャロットさんミニ」にじんくだものジュース』と『国産米のソフトせんべいしお味』でおやつタイム。試食しながら合鴨たちの成長とお仕事を撮った動画を視聴しました。田んぼ上空から撮った動画では合鴨たちが泳いだ後の水が濁っていく様子がはっきりわかりました。水が濁ると水中の光が遮られ、雑草が生えにくくなり成長も抑えられるそうです。合鴨たちのお仕事の様子がよくわかる動画に参加者は見入っていました。



### 参加者の感想

☹️ お米作りのお話を聞き想像以上に大変そうでした。それも有機米となるというんな面で大変な事が多いのですね。安全でおいしいお米を作って下さる農家さんたちが作りやすくなるような仕組みや支援があると良いですね。

😊 合鴨の絵の説明が子どもにもわかりやすくて良かったです。ありがとうございました。

😊 合鴨の可愛らしさに感動しました。家族のような合鴨を出荷する時はさみしいだろうなと想像しますが、その分命の大切さがわかり食べることの有難さがわかりました。

### 参加者の感想

😊 実際に田んぼを見ると雑草が結構残っているのが見られたが、前回放流した合鴨の数が少なかったことで追いついていないという話を聞き、なるほどと思いました。合鴨農法は思い通りにいかないこともあり、難しいのだと改めて感じました。

😊 黄色くて小さかった合鴨が白くなり体が大きくなっていました。緑色の箱の中で口ばしでだけ黄色く顔をちょこんと出している姿がとても可愛らしく自然の風景をみて心が癒されました。

☹️ 割れたお米や糠などを利用して餌にし、無駄のない循環が気持ちいいと思いました。

ときめき学校2023~ささかみ~の3回目は11月に、JA新潟かがやき女性部と一緒に試食・交流会を開催する予定です。

